

平成 29 年度在宅医療関連施策の実施状況について

(1) 広域型在宅医療連携拠点運営支援事業（予算額：18,828 千円）

【事業概要】

広域による在宅医療提供体制整備を目的として、複数の市町村を事業実施区域とする在宅医療連携拠点を設置し、その連携・調整を担う者（医療職又は業務経験者等）を配置した場合に、その人件費を補助するもの。

実施主体：市町村、NPO等

補助の概要：複数の市町村で構成する1事業区域あたり4,707千円（人件費のみ）

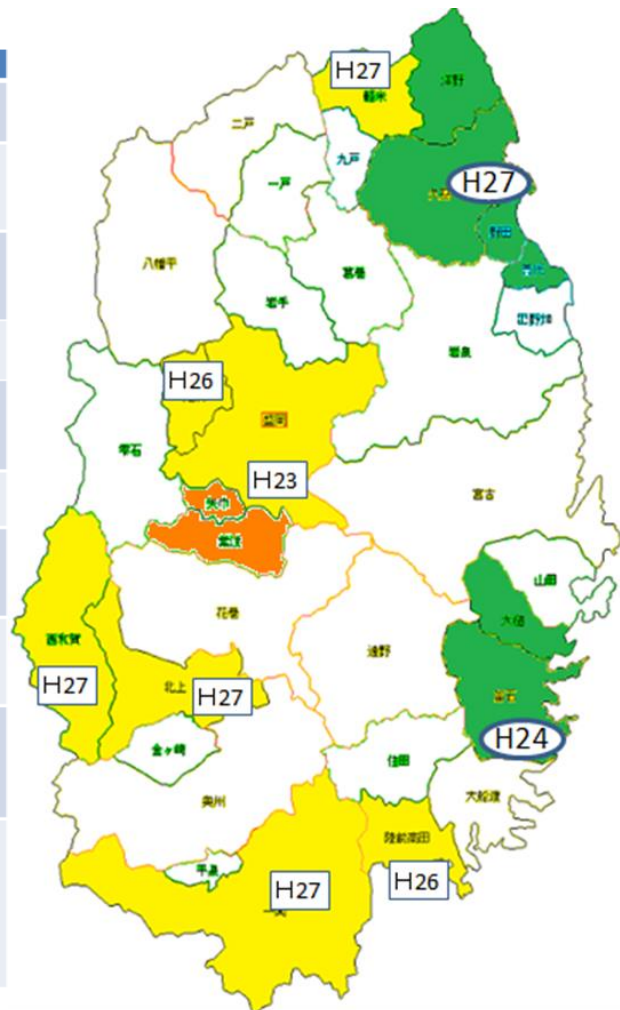
【事業の実績】

矢巾町（紫波町と共同実施）が、28年10月から本事業を活用し、「紫波郡地域包括ケア支援センター」として在宅医療連携拠点を設置。

宮古圏域では本事業を呼び水に、平成29年2月に宮古保健所主催の「在宅医療連携拠点についての意見交換会」を開催し、「在宅医療・介護連携推進事業」の広域実施等に向けて継続して協議を実施。

（参考：県内の連携拠点の設置状況）

	事業主体	運営主体	名称
1	盛岡市	医療法人葵会	在宅医療連携拠点 チームもりおか
2	釜石市	釜石市	在宅医療連携拠点 チームかまいし
3	陸前高田市	陸前高田市	陸前高田市在宅医療 介護連携センター
4	滝沢市	医療法人ゆとり が丘クリニック	在宅ボックス滝沢
5	一関市	一関市	一関市医療と介護 の連携連絡会
6	北上市	社会福祉法人恩 賜財団済生会	北上市在宅医療介護 連携支援センター
7	西和賀町	西和賀町	西和賀町在宅医療 介護連携推進協議 会
8	軽米町	軽米町	名称なし（軽米町 健康福祉課）
9	特定非営利活 動法人北三陸 塾	同左	北三陸塾
10	矢巾町	一般社団法人紫 波郡医師会	紫波郡地域包括ケア 支援センター



(2) 在宅医療人材育成研修（予算額：医療従事者：6,838千円・介護関係者：933千円）

【事業概要】

医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員等の在宅医療を担う各職種について、地域や各職種の実情に合わせた研修を実施するもの。

【事業の実績】

計10団体に委託し研修を実施。詳細は下記のとおり。

		主な内容	実施(予定)時期
医師向け	盛岡市医師会	他県の在宅医療を実践する医師による講演及び訪問看護ステーションとの連携に関する研修会	平成29年10月
		対象者:医師及び歯科医師等多職種 参加者数:64名	
		会場:マリオス18階会議室 委託料:303千円	
	紫波郡医師会	医科歯科連携による診療及び療養支援に関する研修及び多職種連携による在宅医療・多職種連携推進セミナーの開催(計2回)	平成29年11月 ～平成29年2月
		対象者:医師及び歯科医師等多職種、一般	
		会場:在宅等 委託料:311千円	
	花巻市医師会	在宅医療の事例紹介及び多職種連携等に関する勉強会(事例紹介、かかりつけ医の訪問診療、看取り、地域包括ケア病棟の利用方法等)	平成29年9月
		対象:医師等医療機関職員、訪問看護ステーション職員等 参加者:45名	
		会場:ホテル花城 委託料:185千円	
	北上医師会	他圏域の医師を招聘し在宅医療の講演会の実施及び意思決定支援の研修会(計3回)	平成29年11月 ～平成30年2月
対象者:医師、多職種			
会場:ホテルブランニュー北上ほか 委託料:304千円			
久慈医師会	他圏域で在宅医療を実践している医師を招き、医師不足の地域における在宅医療について検討する研修	平成29年11月	
	対象者:医師等医療施設職員、行政職員等 参加者数:42名		
	会場:県立久慈病院 委託料:177千円		
二戸医師会	岩手西北医師会と連携し、在宅医療の課題及び対応等についてのセミナーを開催(意思決定支援、服薬管理、認知症対応等)	平成29年8月	
	対象者:医師、歯科医師、薬剤師等 参加者数:32名		
	会場:二戸パークホテル 委託料:222千円		
岩手県歯科医師会	在宅療養に必要な歯科医療(訪問による診療や口腔ケア、口腔機能リハビリなど)を推進し、関係者に普及するための研修(計2回)	平成30年1月 ～平成30年2月	
	対象者:歯科医師、歯科衛生士等 参加者数:延100名程度(予定)		
	会場:盛岡市、花巻市 委託料:608千円		
岩手県薬剤師会	自宅や施設、保険薬局店頭における服薬管理、指導のための「フィジカルアセスメント」手技の習得研修及び既受講者向けフォローアップ研修(計3回)	平成29年10月 ～平成29年11月	
	対象者:薬剤師等 参加者数:延70名程度(予定)		
	会場:岩手医大矢巾キャンパス 委託料:1240千円		
岩手県訪問看護ステーション協議会	訪問看護管理者向け研修及び交流会、意思決定支援を考える研修会(計2回)	平成29年7月 ～平成29年11月	
	対象者:訪問看護従事者、居宅介護支援専門員等 参加者数:100名程度		
	会場:盛岡市内 委託料:614千円		
岩手県介護支援専門員協会	在宅医療に従事している者のノウハウを共有するとともに、利用者の生活圏域でどのような在宅療養が可能かを説明できることを目的に、講義・グループワークを実施(計3回)	平成29年10月 ～平成29年11月	
	対象:居宅介護支援専門員等 参加者数:300名程度(予定)		
	会場:滝沢市、久慈市、宮古市 委託料:933千円		

(3) 市町村職員等在宅医療介護連携基礎研修（予算額：1,688千円）

【事業概要】

医療行政等の経験がない新任等の市町村職員等に基礎的な知識を伝達し、在宅医療の4つのフェーズ（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り）の実情を把握するとともに、地域において在宅医療を実践している方とのグループワークを通して交流の機会を設置することで、人脈を形成するもの。

【事業の実績】

- 平成28年度（盛岡市、奥州市、釜石市）から開催市町村を変え、各広域振興局圏内で1ヶ所、計4か所で開催（出席者計83名）

	盛岡会場 (紫波町)	県南会場 (北上市)	県北会場 (二戸市)	沿岸会場 (大船渡市)
日時	11月9日(木) 14:30~18:30	11月17日(金) 14:30~18:30	11月22日(水) 14:30~18:30	12月7日(木) 14:30~18:30
会場	紫波町役場	北上地区合同庁舎	二戸地区合同庁舎	リアスホール
参加者数	19名	25名	24名	15名
医師	なおしま医院 院長 直島 淳太	ホームケアクリニックえん 院長 千葉 恭一	県立二戸病院 副院長兼内科長 高橋 浩	岩渕内科医院 院長 岩渕正之
歯科医師	盛岡市歯科医師会 常任理事 中村 ますみ	北上歯科医師会 理事 松生 達	二戸歯科医師会 副会長 森川 伸彦	気仙歯科医師会 歯科医師 熊上 聡
薬剤師	ファミリー薬局 薬剤師 鷹觜 直佑	北上薬剤師会在宅サポート部会 部長 伊藤 貴文	二戸薬剤師会 会長 金澤 悟	気仙中央薬局 薬剤師 金野 良則
病院看護師	県立中央病院 地域医療福祉連携室 看護師長補佐 荻野 絢子	県立中部病院 地域医療福祉連携室 看護師長補佐 高橋 瑞枝	県立二戸病院 地域医療福祉連携室 看護師長補佐 獅子内 明美	県立大船渡病院 患者総合支援センター 看護師長補佐 小松 登美子
訪問看護師	訪問看護ステーション結の手 所長 飯島 純一	訪問看護ステーションあゆみ 所長 高橋 昭子	県看護協会立二戸訪問看護ステーション 所長 中野 美枝子	気仙訪問看護ステーション 所長 近藤 優子
ファシリテーター	釜石市高齢介護福祉課 在宅医療介護連携係長 小田島 史恵	県立宮古病院地域医療福祉連携室 主任社会医療事業士 湯澤 克	一般社団法人未来かなえ機構 事務局長 安部 博	医療法人葵会在宅医療連携拠点チームもりおか 所長 板垣 園子

【研修の評価（アンケート結果）】

- 約8割の参加者が業務の「参考になった」「大変参考になった」、と回答していた。在宅医療の4つのフェーズに分けて研修を開催したが、特に「看取り」についての評価が高く、参加者の関心の高さを伺わせた。
- 「県から最も受けたい支援」を尋ねたところ、「医師会等の関係団体の調整」が最も多かった。
- 今後の県に行ってほしい研修について、「今回のような初任者向けの基礎研修を、他の市町村で開催してほしい」といった継続の意見がある一方、「他県の先進事例紹介等、実践的な連携体制の構築を目的とした研修を開催してほしい」という意見があった。

(4) 在宅医療体制支援事業（予算額：16,693千円）

【事業の概要】

県医師会が実施する「在宅医療に取り組む医師への支援」事業等の取組に対し、支援を行うもの。

【事業の実績】

- 平成29年6月1日に「県医師会在宅医療支援センター」を開設
- 郡市医師会が実施する在宅医療人材育成研修等の企画支援を実施
- 市町村職員等在宅医療介護連携基礎研修の委託実施
- 胆江圏域の「在宅医療に取り組む医師への支援」モデル事業の実施検討
 - ・ 支援を行う病院及び（支援を受ける）診療所の参加意向調査
 - ・ 平成30年2月より胆江地域で実施調整を行うコーディネーターを配置
 - ・ モデル事業の実施スキームについて詳細を調整

(5) 市町村在宅医療連携体制支援事業（予算額：2,855千円）

【事業の概要】

在宅医療の会議や研修等の場に訪問看護師を派遣し、技術的助言を行うことで、市町村等の在宅医療・介護連携体制の取組みの支援をするもの。

【事業実績】

市町村が開催する会議、研修等の場に3件の派遣を実施

内容：医療資源が少なく、医師の在宅医療の負担が大きい地域での体制整備の助言
市町村の研修における他圏域の訪問看護等の現状の紹介
訪問看護ステーションがない地域における新規整備及び人材確保等に係る助言

(6) 在宅医療介護連携圏域会議事業（1,431千円）

【事業の概要】

各保健所で、医療と介護の連携体制に関与していくことを目的とし、各地域における在宅医療に関する取組を、在宅医療連携拠点・市町村・医療従事者等の団体に委託して実施するもの。

【事業実績】

5保健所（圏域）で広域の多職種連携等に関する会議及び研修等を実施。

保健所	実施内容
県央	・ 在宅療養に関わる医療サービス提供資源の把握及びリスト作成 ・ 地域の基幹病院と居宅介護支援事業所間の連携研修会
中部	・ 歯科に関する在宅医療の研修会 ・ 岩手中部医療情報ネットワークの説明会
釜石	・ 在宅医療・介護連携に係る会議及び他職種連携研修 ・ 地域医療情報連携ネットワークの普及啓発リーフレット作成
宮古	・ 広域の他職種連携研修、入退院調整に関する会議 ・ 管内の在宅医療及び介護資源のマップ作成
二戸	・ 在宅医療・介護連携に関する会議・広域での研修

(7) その他の取組み

- 平成28年度に作成した『「在宅医療・介護連携推進事業」の手引き 岩手県版補足資料』について、市町村職員を対象に県内4か所（盛岡市、奥州市、釜石市、久慈市）で説明会を開催し、あわせて市町村に対する在宅医療等に関するデータの提供等を実施。
- 国の実施する研修（小児在宅医療、患者の意向を尊重した意思決定、訪問看護）について、関係団体と連携して受講者の推薦及び派遣を実施。